

技術報告第1105号「送電用CVケーブル接続部の技術動向と経年劣化現象」正誤表

ページ	行, 式	誤	正
31	左下1	部位ができる。	部位ができる。一方、有機過酸化化物架橋の反応例を図5.2.2 に示すが、架
41	(5.3.1.4)	$x = \frac{V}{g_x} \cdot \left( \ell - \frac{\ln \frac{y}{r}}{\ln \frac{R}{r}} \right)$	$x = \frac{V}{g_x} \cdot \left( 1 - \frac{\ln \frac{y}{r}}{\ln \frac{R}{r}} \right)$
66	右3	溶解度係数	溶解度パラメータ
86	左下13		
83	左下11	下表に示すように	表5.5.2.1に示すように
102	左1	① 普通接続部に	普通接続部に
	左6	② 箔電極の	⑤ 箔電極の
106	左7	参考文献(1)～(5)の差替え	<p style="text-align: center;">参 考 文 献</p> (1) 田中他,「テープ巻き絶縁形接続部の寿命評価」,平成13年電学論B, 121巻11号, pp1532-1537(2001-11) (2) 「電力ケーブルシステムの部分放電測定技術」,電気学会技術報告, No.695 (1998-10) (3) 岩崎他:「CVケーブル用接続部の診断技術の現状と課題」,平成18年電気学会全国大会, S-13 (2006-3) (4) 「ポータブル部分放電システム」,古河電工時報, pp.79-89 (2000-7) (5) 中西他,「AEセンサによるCVケーブル用プレハブ接続箱の部分放電検出」,平成4年電学論B, pp.897-903, 112巻10号 (1992-10) (6) 陳他:「直埋ケーブル線路における部分放電測定方法の検証」,平成16年電学論B, 122巻4号, pp.520-526 (2004-4) (7) 岡田他:「CVケーブル接続箱における部分放電の位置評定」,平成12年電気学会全国大会, No.7-102 (2000-3) (8) 岡田他:「X線照射によるCVケーブル接続箱の部分放電発生位置評定」,平成12年電気学会全国大会, No.7-103 (2000-3) (9) 岡田他:「AEセンサーによるCVケーブル接続箱の部分放電発生位置評定」,平成12年電気学会全国大会, No.7-104 (2000-3) (10) 中司他:「CVケーブルヘッド部(シリコン油)の油中ガスに関する基礎データ」,平成10年電気学会電力・エネルギー部門大会, No.414 (1998-3) (11) 月岡他:「新設変圧器中における金属材料の吸蔵ガスとその放出に関する研究」,昭和56年電学論A, 100巻12号, p.41 (1980-12) (12) 小林他:「アルカリ・シリカ反応による磁器碍管の吸湿劣化診断技術」,平成18年電学論B, 126巻6号, pp.595-597 (2006-6) (13) 上澤他:「CVケーブル用終端部外部診断技術の開発(その1)」,平成18年電気学会電力・エネルギー部門大会, No.137 (2006-9) (14)「複合絶縁の界面現象とその評価」,電気学会技術報告, No.694, p.54 (1998-9) (15) 岩崎他:「CVケーブル用複合がい管気中終端接続部設備の汚損特性」,平成19年電気学会電力・エネルギー部門大会, No.240 (2007-9)